

2019年8月16日～2025年3月29日の間に 当科において超音波検査を受けられた方へ

「高周波プローブの減衰イメージング、新映像化技術、ゆらぎ解析、自動BODYMARK
などの新臨床アプリケーションの臨床有用性に関する共同研究」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波） 畠 二郎
研究分担者 川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波） 今村祐志

1. 研究の概要

通常診療の画像データを、個人情報を除いたのちに取り出し、別のコンピュータで画像を解析して、より良い映像化技術とアプリケーションを開発します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年8月16日～2025年3月29日に川崎医科大学附属病院において超音波検査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

2019年8月16日～2025年3月31日

3) 研究方法

2019年8月16日～2025年3月29日に川崎医科大学附属病院において超音波検査を受けられた方の超音波像を選び、より良い映像化技術とアプリケーションを開発します。

4) 使用する情報の種類

情報：超音波検査の画像、疾患名

5) 外部への情報の提供

個人情報を除いた画像データと疾患名のみをキヤノンメディカルシステムズ株式会社に提供いたします。画像データとの対応表は、川崎医科大学の個人情報管理者が保管・管理します。

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波）内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータ

ーに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年3月29日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 内視鏡・超音波センター

氏名：今村祐志

電話：086-462-1111 内線 44306（平日：8時30分～17時00）

ファックス：086-462-1199

研究代表機関名 川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波）

研究代表責任者 川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波） 教授 畠 二郎

共同研究機関

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 掛江明弘

3. 資金と利益相反

本研究において、資金の受け入れおよび使用はありません。この研究課題を実施する関係者は、キヤノンメディカルシステムズ株式会社より超音波検査機器の提供を受けていますが、川崎医科大学利益相反委員会にこの内容を報告し、適正に管理されています。